

# 臨床薬剤学

責 任 者 : 高橋 勝雄 教授

担当講座 (科) : 臨床薬剤学講座

講 義 18 時間

単 位 1 単位

学 年

4 学年 前期

## 学習方針

### 基本理念 :

時代が求める医療を実践できる薬剤師としての素養を身につけるため、薬剤業務全般についての基本的知識、技能、態度を修得する。また、チーム医療、治験業務、リスクマネジメントなど、近年薬剤師に期待されている業務について理解を深める。さらに、医薬分業など、地域医療と薬剤師の関連について学ぶ。

### 一般目標 (GIO) :

調剤・製剤・医薬品管理・DI 業務といった薬剤師の基本業務の他、薬剤管理指導業務、薬物血中濃度モニタリング業務 (TDM)、治験業務など、最近薬剤師に期待されている業務全般について学ぶ。さらに、感染制御チーム、緩和ケアチーム、栄養サポートチームなどチーム医療と薬剤師の関わりについて理解を深める。また、地域医療における保険薬局の役割についても学ぶ。

### 到達目標 (SBOs) :

1. 病院における調剤と保険薬局における調剤について説明できる。
2. 調剤過誤の例を列举し、その原因や対処方法について説明できる。
3. 院内製剤や薬局製剤について例をあげて説明できる。
4. 医薬品管理業務について概説し、特別な配慮を要する医薬品を列举できる。
5. 医薬品情報管理業務や医薬品添付文書の読み方を説明できる。
6. 薬剤管理指導業務の目的、方法、必要な知識等について概説できる。
7. 薬剤管理指導業務における服薬指導記録の必要記載事項について説明できる。
8. 医薬品開発における治験の流れと薬剤師の関わり、治験コーディネーターの業務と責任、インフォームドコンセント等について説明できる。
9. 血中薬物濃度モニタリング業務 (TDM) について実際例をあげて説明できる。
10. TDM の薬物投与計画への応用について例をあげて説明できる。
11. 代表的中毒原因物質のスクリーニング法や中毒時の生体試料の取扱いについて説明できる。
12. チーム医療と薬剤師の関わりについて概説できる。
13. 地域医療における保険薬局の役割を概説できる。

## 講義日程

月日	曜	時限	講座(科)名	担当者	内 容
4/14	水	2	臨床薬剤学講座	高橋 勝雄 教授	調剤業務、リスクマネジメント
4/21	〃	〃	〃	〃	製剤業務(一般製剤、無菌製剤)
4/28	〃	〃	〃	〃	医薬品管理業務(薬局、病院)
5/12	〃	〃	〃	藤原 邦彦 准教授	医薬品情報管理業務
5/19	〃	〃	〃	〃	薬剤管理指導業務(1) 薬剤管理指導業務の概要、服薬指導に必要な情報と知識
5/26	〃	〃	〃	〃	薬剤管理指導業務(2) 薬歴管理、指導記録、服薬指導の実際
6/ 2	〃	〃	〃	〃	薬剤管理指導業務(3) 特殊な患者への服薬指導について
6/ 9	〃	〃	〃	高橋 勝雄 教授	治験業務(治験の流れと薬剤師の関わり)
6/16	〃	〃	〃	藤原 邦彦 准教授	血中薬物濃度モニタリング業務(TDM)(1) TDM業務の実際と生体飼料の取扱い方法
6/23	〃	〃	〃	〃	血中薬物濃度モニタリング業務(TDM)(2) 薬物投与計画と中毒医療への応用
6/30	〃	〃	〃	高橋 勝雄 教授	チーム医療と薬剤師の関わり
7/ 7	〃	〃	〃	〃	医薬分業と保険薬局、地域医療と薬剤師

## 教科書(教)・参考図書(参)・推奨図書(推)

	書 名	著者名	発行所	発行年
教	調剤学総論 改訂9版	堀岡 正義	南山堂 (定価 6,800 円)	2008
参	実践 医療薬学	岡野 善郎、他編	じほう (定価 5,460 円)	2000

## 成績評価方法

講義の出席状況、定期試験、小テスト、レポート等から総合的に評価する

## オフィスアワー一覧

授業を担当する専任教員氏名	方 式	曜	時間帯	備 考
臨床薬剤学講座 高橋 勝雄	B-i			事前に連絡があると確実です。
臨床薬剤学講座 藤原 邦彦	B-i			事前に連絡があると確実です。